

統計トピックス No. 138

統計からみた我が国の高齢者

－「敬老の日」にちなんで－

総務省統計局では、「敬老の日」（9月18日）を迎えるに当たって、統計からみた我が国の65歳以上の高齢者のすがたについて取りまとめました。

内 容**I 高齢者の人口**（人口推計 2023年9月15日現在）（2ページ～）

- 高齢者人口は1950年以降初めての減少
一方、総人口に占める高齢者人口の割合は29.1%と過去最高
- 75歳以上人口が初めて2000万人を超える
10人に1人が80歳以上となる
- 日本の高齢者人口の割合は、世界で最高（200の国・地域中）

II 高齢者の就業（労働力調査、就業構造基本調査）（7ページ～）

- 高齢就業者数は、19年連続で増加し912万人と過去最多
- 就業者総数に占める高齢就業者の割合は、13.6%と過去最高
- 65～69歳、70～74歳の就業率は過去最高に
- 日本の高齢者の就業率は、主要国の中でも高い水準
- 高齢雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は76.4%と
前年に比べ0.5ポイント上昇、一方で65～69歳では3年連続低下
- 「医療、福祉」の高齢就業者は10年前の約2.7倍に増加
- 高齢の就業希望者のうち、希望する仕事の種類は、男性は「専門的・技術的職業」が最も多く、女性は「サービス職業」が最も多い
- 高齢者の有業率は、男性は山梨県が最も高く、女性は福井県が最も高い

I 高齢者の人口

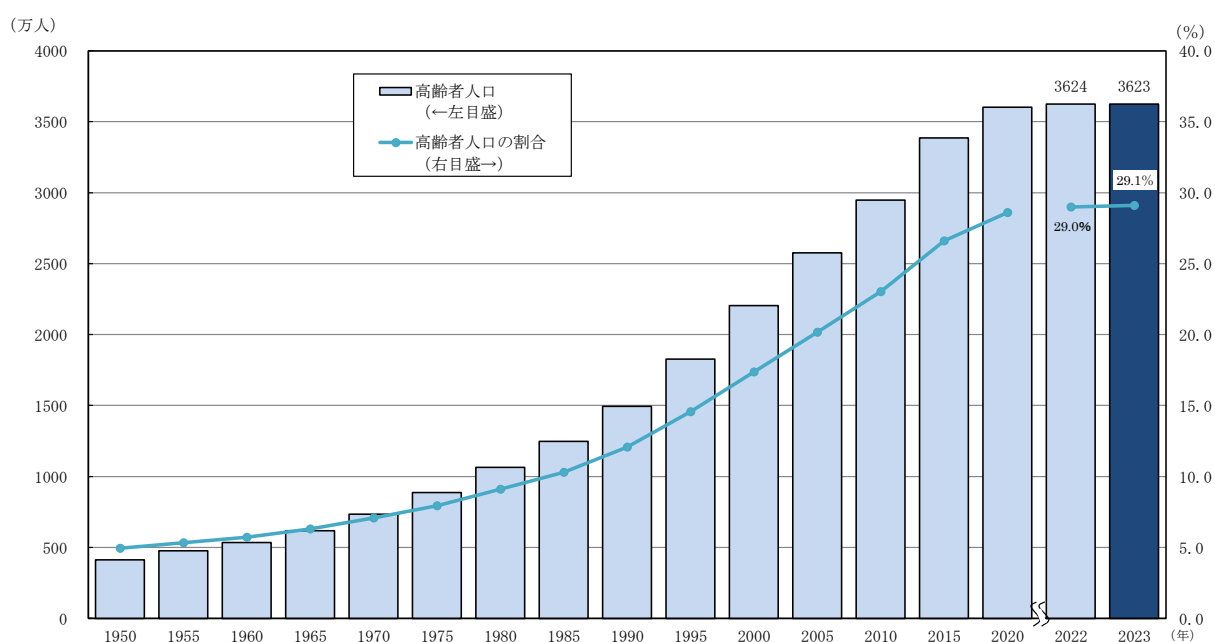
高齢者人口は 1950 年以降初めての減少
一方、総人口に占める高齢者人口の割合は 29.1%と過去最高

我が国の65歳以上の高齢者（以下「高齢者」といいます。）人口は、1950年以降、一貫して増加していましたが、2023年9月15日現在の推計では3623万人と、前年（3624万人）に比べ1万人の減少となり、1950年以降初めての減少となりました。

一方、総人口に占める割合は29.1%と、前年（29.0%）に比べ0.1ポイント上昇し、過去最高となりました。（図1、表1）

男女別にみると、男性は1572万人（男性人口の26.0%）で、前年に比べ1万人の減少、女性は2051万人（女性人口の32.1%）で、前年と同数となり、女性が男性より479万人多くなっています。また、人口性比（女性100人に対する男性の数）をみると、15歳未満では105.0、15～64歳では103.0と男性が多いのに対し、65歳以上では76.6と女性が多くなっています。（表1）

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2023年）



資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2022年及び2023年は「人口推計」

注1）2022年及び2023年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年是不詳補完結果

3）1970年までは沖縄県を含まない。

75 歳以上人口が初めて 2000 万人を超える 10 人に 1 人が 80 歳以上となる

高齢者人口を詳しくみると、70歳以上人口は2889万人で、前年に比べ20万人増、75歳以上人口は2005万人で、前年に比べ72万人増、80歳以上人口は1259万人で、前年に比べ27万人増となっており、65歳以上人口以外の区分では増加傾向となっています。

なお、75歳以上人口は、前年に比べ72万人増加したことにより、初めて2000万人を超えました。この増加幅は、いわゆる「団塊の世代」（1947年～1949年生まれ）が2022年から75歳を迎えていることによると考えられます。

総人口に占める割合を詳しくみると、70歳以上人口は23.2%で、前年に比べ0.2ポイント上昇、75歳以上人口は16.1%で、前年に比べ0.6ポイント上昇、80歳以上人口は10.1%で、前年に比べ0.2ポイント上昇となりました。

80歳以上人口は、総人口に占める割合が初めて10%を超え、10人に1人が80歳以上となっています。

男女別では、男性の70歳以上人口が、男性人口の20.1%と初めて20%を超え、男性の5人に1人が70歳以上となっています。（表1）

表1 年齢3区分別人口及び割合（2022年、2023年）－ 9月15日現在

区 分	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち							
					70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	95歳以上	100歳以上	
2023年												
人 口 (万人)												
男女計	12442	1421	7398	3623	2889	2005	1259	671	273	69	9	
男	6053	728	3753	1572	1215	798	461	216	71	13	1	
女	6389	693	3645	2051	1675	1208	797	455	202	55	8	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	100.0	11.4	59.5	29.1	23.2	16.1	10.1	5.4	2.2	0.6	0.1	
男	100.0	12.0	62.0	26.0	20.1	13.2	7.6	3.6	1.2	0.2	0.0	
女	100.0	10.8	57.1	32.1	26.2	18.9	12.5	7.1	3.2	0.9	0.1	
人口性比 ※	94.7	105.0	103.0	76.6	72.5	66.0	57.9	47.6	35.4	23.7	13.7	
2022年												
人 口 (万人)												
男女計	12496	1451	7421	3624	2869	1933	1232	659	263	65	9	
男	6076	743	3760	1573	1206	764	450	211	68	12	1	
女	6420	708	3660	2051	1664	1169	782	448	195	53	8	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	100.0	11.6	59.4	29.0	23.0	15.5	9.9	5.3	2.1	0.5	0.1	
男	100.0	12.2	61.9	25.9	19.8	12.6	7.4	3.5	1.1	0.2	0.0	
女	100.0	11.0	57.0	32.0	25.9	18.2	12.2	7.0	3.0	0.8	0.1	
人口性比 ※	94.6	105.0	102.7	76.7	72.5	65.3	57.5	47.1	34.9	23.1	13.7	
対前年差												
人 口 (万人)												
男女計	-54	-30	-23	-1	20	72	27	12	10	4	0	
男	-23	-15	-7	-1	9	34	11	5	3	1	0	
女	-31	-15	-15	0	11	39	15	7	7	2	0	
総人口に占める割合 (%)												
男女計	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	
男	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	
女	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.3	0.7	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	

資料：「人口推計」

※）女性100人に対する男性の数

注）表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある（以下この章において同じ。）。

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、1950年（4.9%）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年に20%を超え、2023年は29.1%と過去最高を更新しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる2040年には34.8%、2045年には36.3%になると見込まれています。（図2、表2）

図2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2045年）

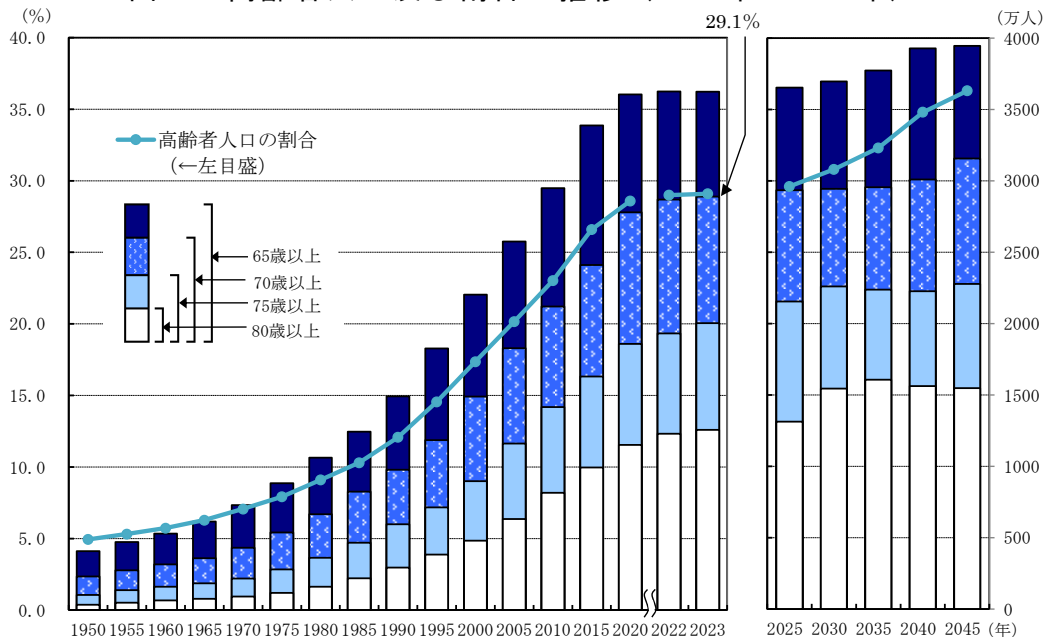


表2 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2045年）

年次	総人口 (万人)	高齢者人口 (万人)				総人口に占める割合 (%)			
		65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上	65歳以上	うち 70歳以上	うち 75歳以上	うち 80歳以上
1950	8320	411	234	106	37	4.9	2.8	1.3	0.4
1955	8928	475	278	139	51	5.3	3.1	1.6	0.6
1960	9342	535	319	163	67	5.7	3.4	1.7	0.7
1965	9827	618	362	187	78	6.3	3.7	1.9	0.8
1970	10372	733	435	221	95	7.1	4.2	2.1	0.9
1975	11194	887	542	284	120	7.9	4.8	2.5	1.1
1980	11706	1065	669	366	162	9.1	5.7	3.1	1.4
1985	12105	1247	828	471	222	10.3	6.8	3.9	1.8
1990	12361	1493	981	599	296	12.1	7.9	4.8	2.4
1995	12557	1828	1187	718	388	14.6	9.5	5.7	3.1
2000	12693	2204	1492	901	486	17.4	11.8	7.1	3.8
2005	12777	2576	1830	1164	636	20.2	14.3	9.1	5.0
2010	12806	2948	2121	1419	820	23.0	16.6	11.1	6.4
2015	12709	3387	2411	1632	997	26.6	19.0	12.8	7.8
2020	12615	3603	2779	1860	1154	28.6	22.0	14.7	9.1
2022	12496	3624	2869	1933	1232	29.0	23.0	15.5	9.9
2023	12442	3623	2889	2005	1259	29.1	23.2	16.1	10.1
2025	12326	3653	2934	2155	1313	29.6	23.8	17.5	10.6
2030	12012	3696	2944	2261	1544	30.8	24.5	18.8	12.9
2035	11664	3773	2955	2238	1607	32.3	25.3	19.2	13.8
2040	11284	3928	3009	2227	1562	34.8	26.7	19.7	13.8
2045	10880	3945	3157	2277	1548	36.3	29.0	20.9	14.2

資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2022年及び2023年は「人口推計」

2025年以降は「日本の将来推計人口（令和5年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計

（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注1）2022年及び2023年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

2）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果

3）1970年までは沖縄県を含まない。

◆「人口推計」の詳しい結果は、次のURLを御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計

検索

日本の高齢者人口の割合は、世界で最高※

2023年の高齢者の総人口に占める割合を比較すると、日本（29.1%）は世界で最も高く※、次いでイタリア（24.5%）、フィンランド（23.6%）、マルティニーク（23.5%）などとなっています。

※ 人口10万以上の200の国及び地域中

（表3）

表3 高齢者人口の割合（上位10か国）（2023年）

順位	国・地域	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12442	3623	29.1
2	イタリア	5887	1440	24.5
3	フィンランド	555	131	23.6
4	マルティニーク	37	9	23.5
5	プエルトリコ	326	76	23.4
6	ポルトガル	1025	239	23.3
7	ギリシャ	1034	239	23.1
8	クロアチア	401	91	22.7
9	ドイツ	8329	1895	22.7
10	ブルガリア	669	149	22.3

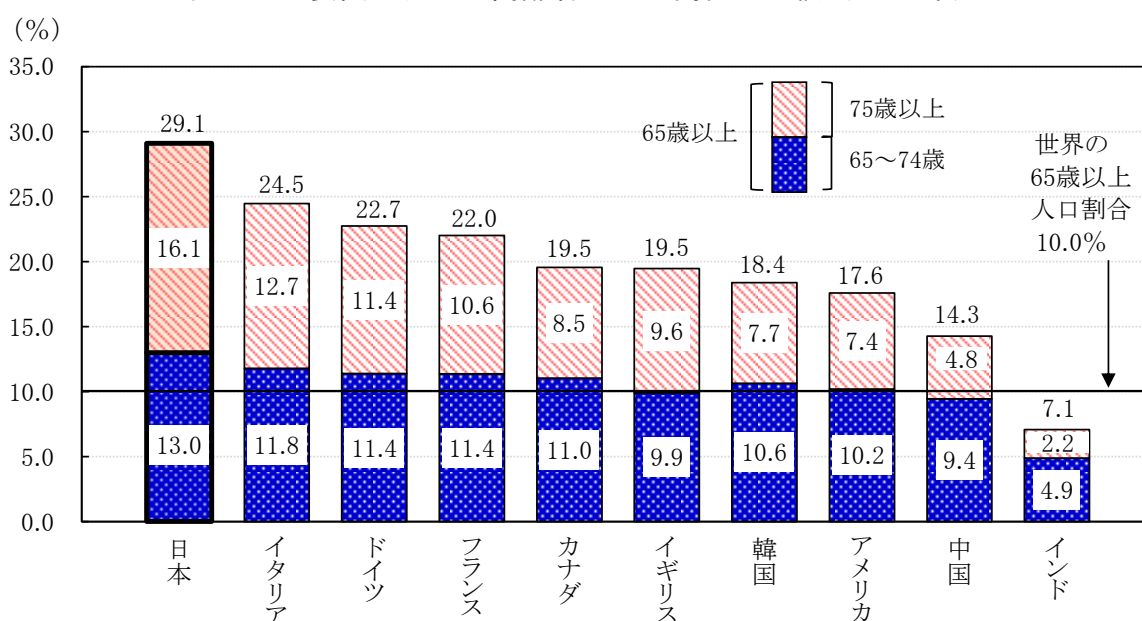
資料：日本の値は、「人口推計」の2023年9月15日現在

他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) における将来推計から、人口10万以上の200の国及び地域の2023年7月1日現在の推計値

主要国における2023年の高齢者人口の割合を比較すると、65～74歳及び75歳以上の双方で、日本が最も高くなっています。

（図3）

図3 主要国における高齢者人口の割合の比較（2023年）



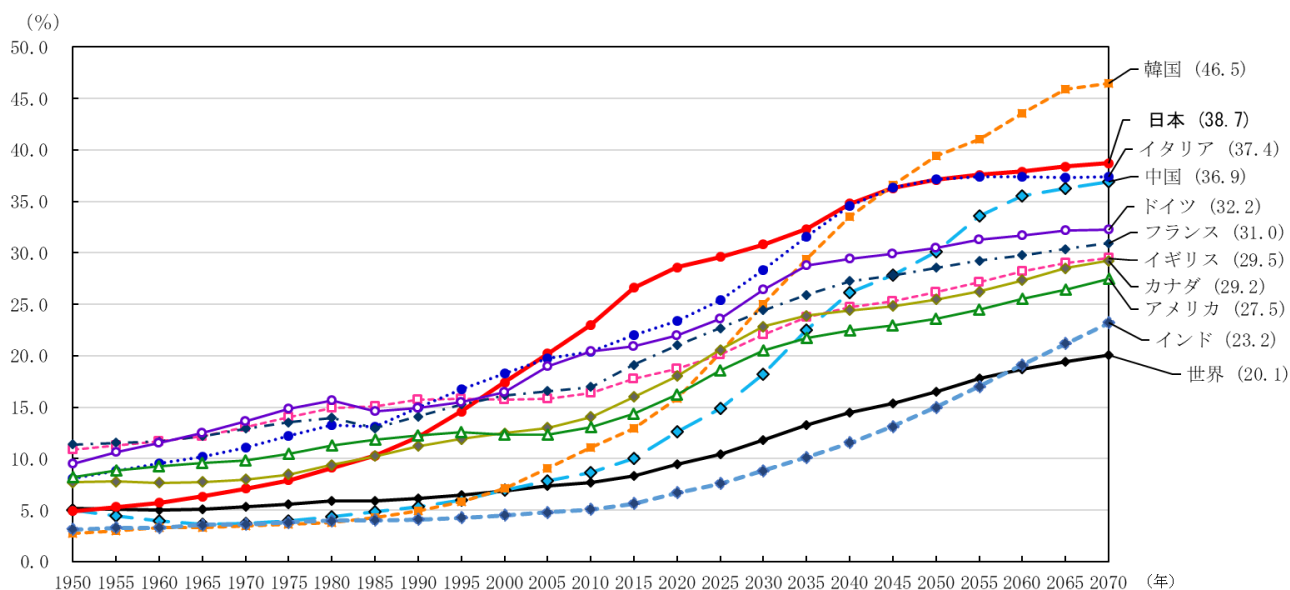
資料：日本の値は、「人口推計」の2023年9月15日現在

他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) における将来推計から、2023年7月1日現在の推計値

主要国における高齢者人口の割合の推移をみると、各国とも上昇傾向となっています。

(図 4)

図 4 主要国における高齢者人口の割合の推移 (1950 年～2070 年)



資料：日本の値は、2020 年までは「国勢調査」の 10 月 1 日現在、2025 年以降は「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）の各年 10 月 1 日現在の推計値
他国の値は、World Population Prospects: The 2022 Revision (United Nations) 各年 7 月 1 日現在の推計値

◆詳しい結果は、以下の URL を御覧ください。

人口推計 : <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

World Population Prospects : <https://population.un.org/wpp/>

人口推計

検索

Ⅱ 高齢者の就業

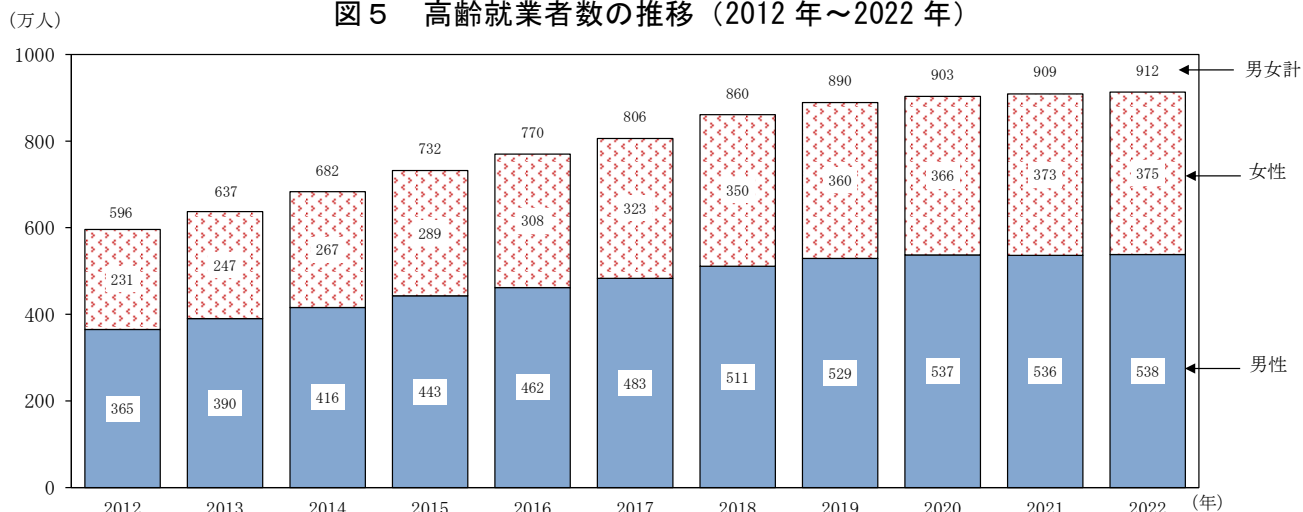
高齢就業者数は、19年連続で増加し912万人と過去最多

2022年の高齢者の就業者^{※1)}（以下「高齢就業者」といいます。）数は、2004年以降、19年連続で前年に比べ増加し、912万人と過去最多^{※2)}となっています。（図5）

※1）就業者とは、月末1週間に収入を伴う仕事を1時間以上した者、又は月末1週間に仕事を休んでいた者

※2）比較可能な1968年以降

図5 高齢就業者数の推移（2012年～2022年）



資料：「労働力調査」（基本集計）

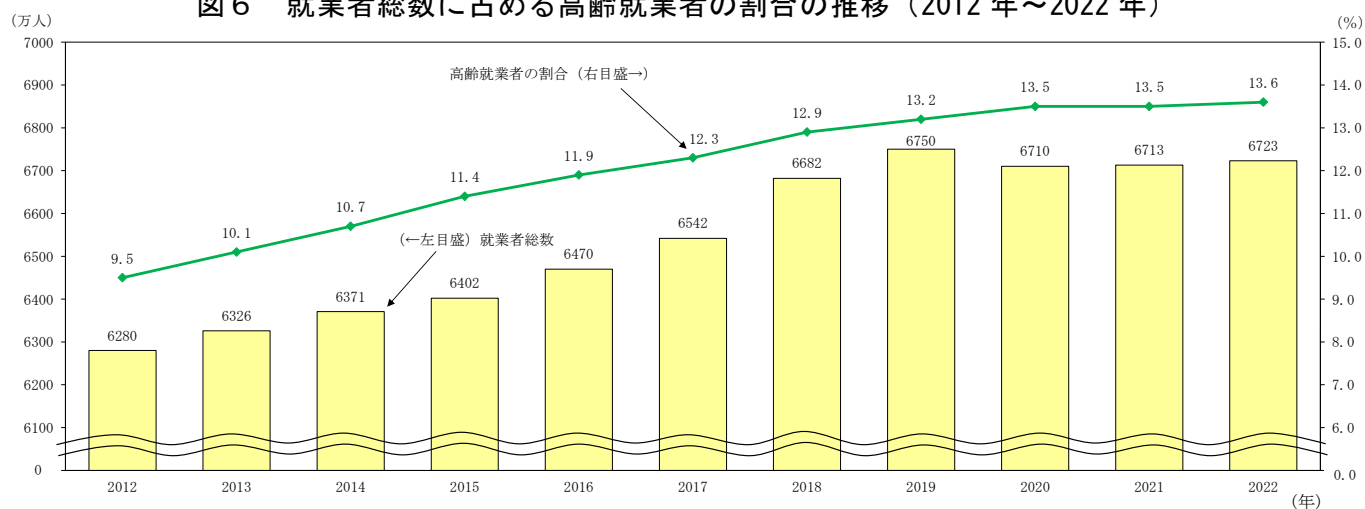
注）数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

就業者総数に占める高齢就業者の割合は、13.6%と過去最高

2022年の15歳以上の就業者総数に占める高齢就業者の割合は13.6%と、前年に比べ0.1ポイント上昇し、過去最高^{※3)}となっています。就業者のおよそ7人に1人を高齢就業者が占めています。（図6）

※3）比較可能な1968年以降

図6 就業者総数に占める高齢就業者の割合の推移（2012年～2022年）



資料：「労働力調査」（基本集計）

65～69歳、70～74歳の就業率は過去最高に

2022年の高齢者の就業率※⁴⁾ は25.2%となり、前年に比べ0.1ポイント上昇しています。

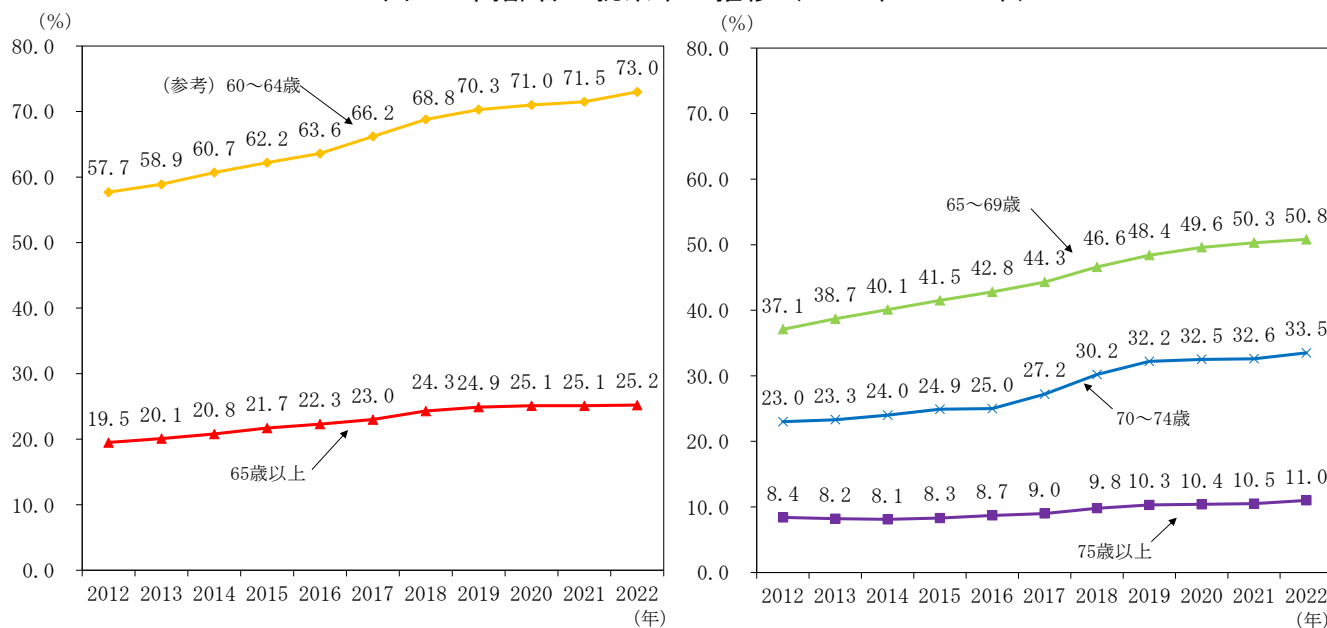
年齢階級別※⁵⁾ にみると、65～69歳は50.8%、70～74歳は33.5%と、いずれも過去最高※⁶⁾ となっています。(図7)

※4) 高齢者の就業率は、65歳以上人口に占める就業者の割合

※5) 年齢階級別就業率は、各年齢階級の人口に占める就業者の割合

※6) 65～69歳は比較可能な1968年以降、70～74歳は比較可能な1978年以降

図7 高齢者の就業率の推移 (2012年～2022年)

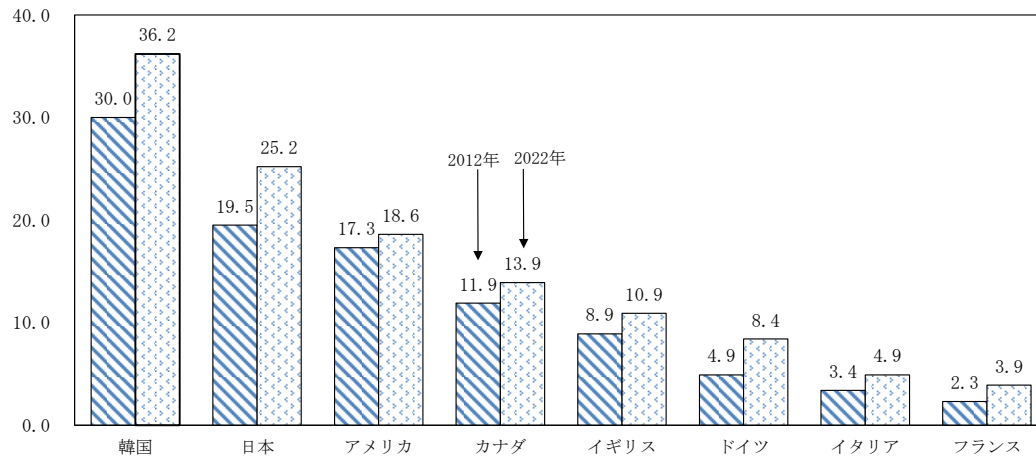


資料：「労働力調査」(基本集計)

日本の高齢者の就業率は、主要国の中でも高い水準

主要国における高齢者の就業率を10年前と比較すると、韓国(+6.2ポイント)、日本(+5.7ポイント)を始め、各国とも上昇しています。2022年の日本の高齢者の就業率は25.2%となっており、主要国の中でも高い水準にあります。(図8)

図8 主要国における高齢者の就業率の比較 (2012年、2022年)

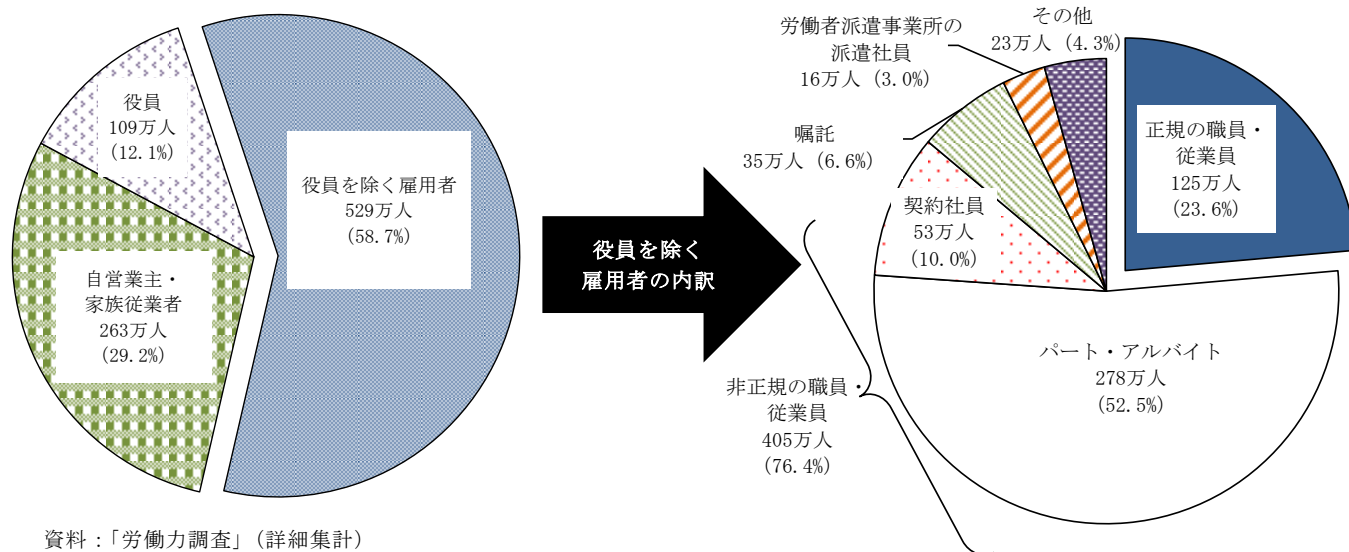


資料：日本の値は、「労働力調査」(基本集計)、他国は、OECD.Stat

高齢雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は76.4%と前年に比べ0.5ポイント上昇、一方で65～69歳では3年連続低下

高齢就業者を従業上の地位別にみると、役員を除く雇用者が529万人で高齢就業者の58.7%、自営業主・家族従業者が263万人で同29.2%、会社などの役員が109万人で同12.1%となっています。さらに、高齢就業者のうち役員を除く雇用者（以下「高齢雇用者」といいます。）を雇用形態別にみると、非正規の職員・従業員が76.4%を占めており、そのうちパート・アルバイトの割合が52.5%と最も高くなっています。（図9）

図9 従業上の地位別高齢就業者及び雇用形態別高齢雇用者の内訳（2022年）



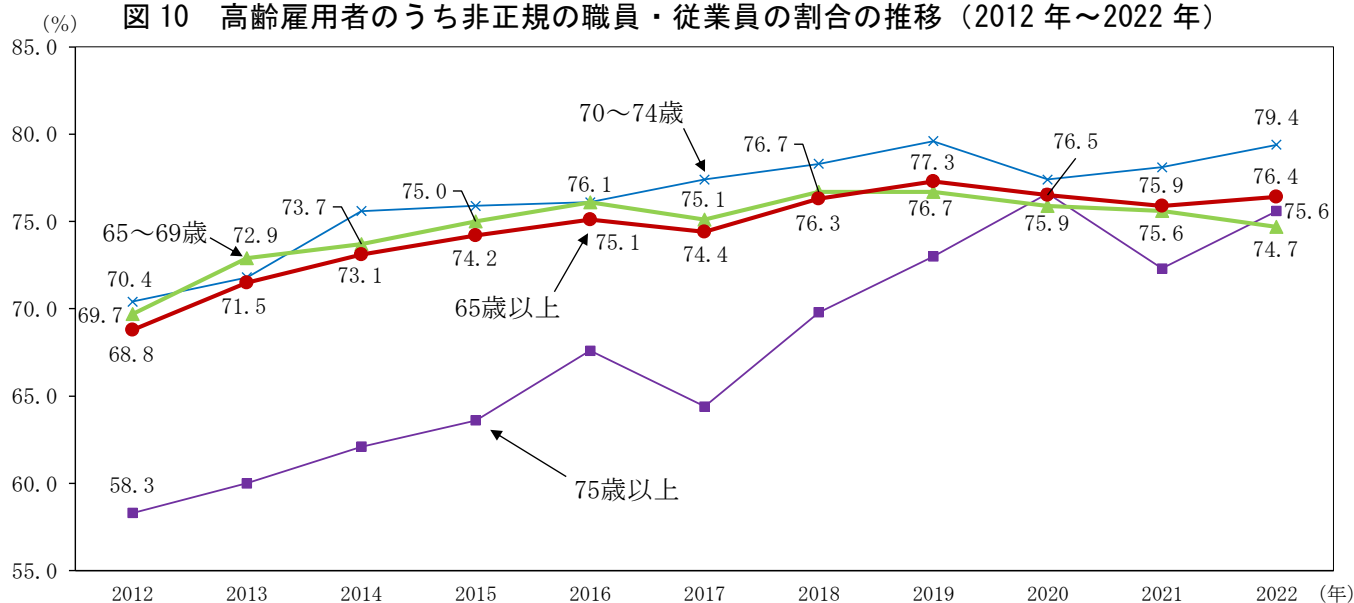
資料：「労働力調査」（詳細集計）

注）割合は内訳の合計に占める割合

高齢雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合※7）は76.4%と、前年に比べ0.5ポイント上昇しています。一方で、65～69歳の高齢雇用者に占める割合は、2018年及び2019年にこの10年で最高となる76.7%となった後、3年連続で低下しています。（図10）

※7）正規及び非正規の職員・従業員の合計に占める非正規の職員・従業員の割合

図10 高齢雇用者のうち非正規の職員・従業員の割合の推移（2012年～2022年）



資料：「労働力調査」（詳細集計）

「医療、福祉」の高齢就業者は10年前の約2.7倍に増加

高齢就業者を主な産業別にみると、「卸売業、小売業」が127万人と最も多く、次いで「サービス業（他に分類されないもの）」が105万人※⁸⁾、「医療、福祉」が104万人※⁹⁾、「農業、林業」が101万人などとなっています。

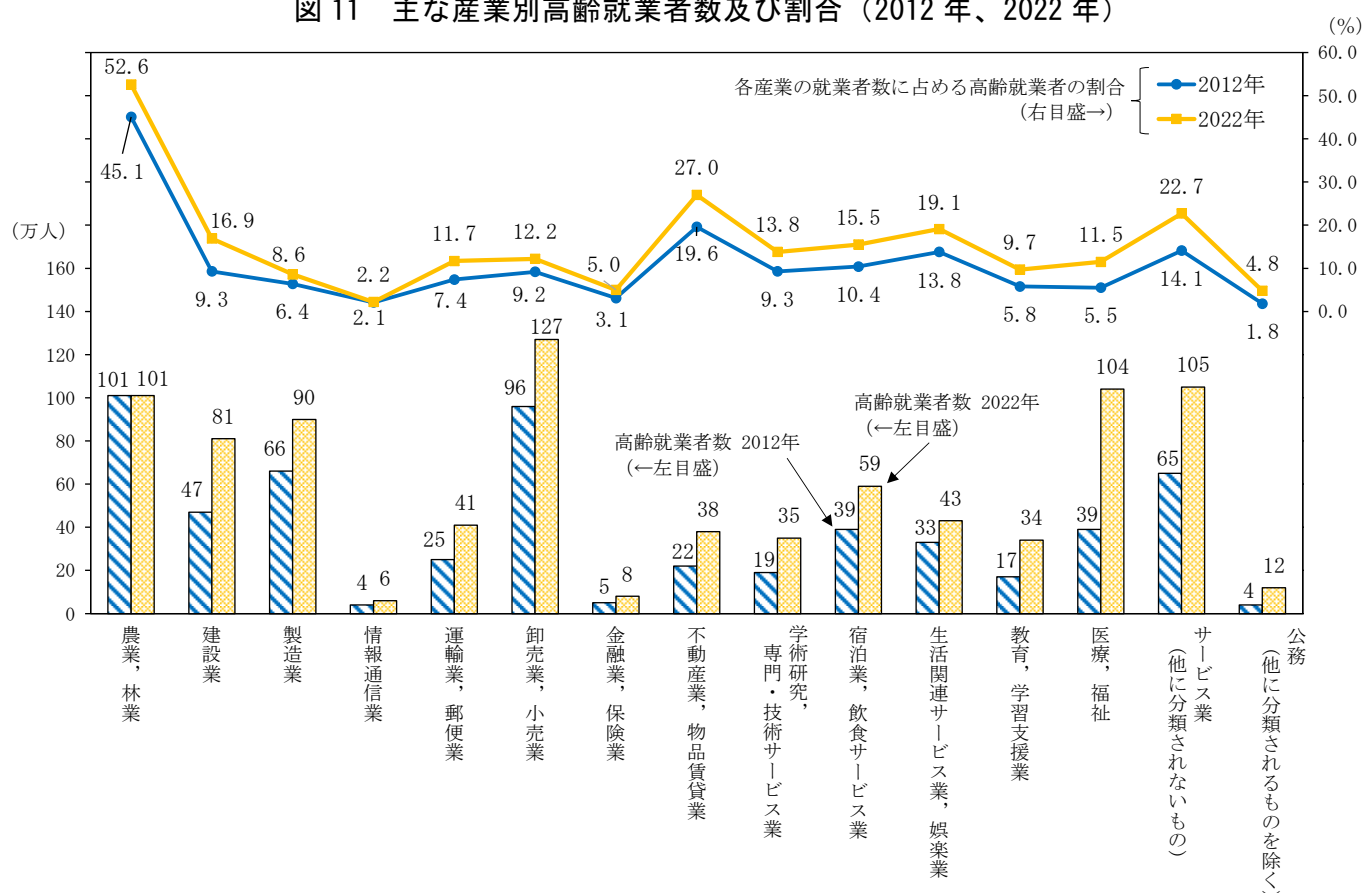
産業別の高齢就業者を10年前と比較すると、「医療、福祉」が65万人増加し、10年前の約2.7倍となりました。次いで「サービス業（他に分類されないもの）」（+40万人）、「建設業」（+34万人）、「卸売業、小売業」（+31万人）などが増加幅の大きい産業です。ほとんどの主な産業で高齢就業者が増加している一方で、「農業、林業」の高齢就業者は10年前と同数となっています。

なお、各産業の就業者に占める高齢就業者の割合をみると、「農業、林業」が52.6%と最も高く、次いで「不動産業、物品賃貸業」が27.0%、「サービス業（他に分類されないもの）」が22.7%、「生活関連サービス業、娯楽業」が19.1%などとなっています。10年前と比較すると、主な産業全てで高齢就業者の割合は上昇しています。（図11）

※⁸⁾ うち「その他の事業サービス業」（建物サービス業、警備業など）が75万人などとなっている。

※⁹⁾ うち「社会保険・社会福祉・介護事業」が70万人、「医療業」が33万人などとなっている。

図 11 主な産業別高齢就業者数及び割合（2012 年、2022 年）



資料：「労働力調査」（基本集計）

◆詳しい結果は、以下のURLを御覧ください。

労働力調査：<https://www.stat.go.jp/data/roudou/index.html>

OECD.Stat：<https://stats.oecd.org/>

労働力調査

検索

高齢者の就業希望者のうち、希望する仕事の種類は、男性は「専門的・技術的職業」が最も多く、女性は「サービス職業」が最も多い

2022年10月1日現在の高齢者の有業率（65歳以上人口に占めるふだん働いている人の割合）は25.3%、無業者比率は74.7%、就業希望者比率（無業者に占める就業希望者の割合）は7.4%となっており、高齢になるほど有業率及び就業希望者比率は低下しています。（表4）

表4 高齢者の男女、年齢階級別有業率、無業者比率、就業希望者比率（2022年）

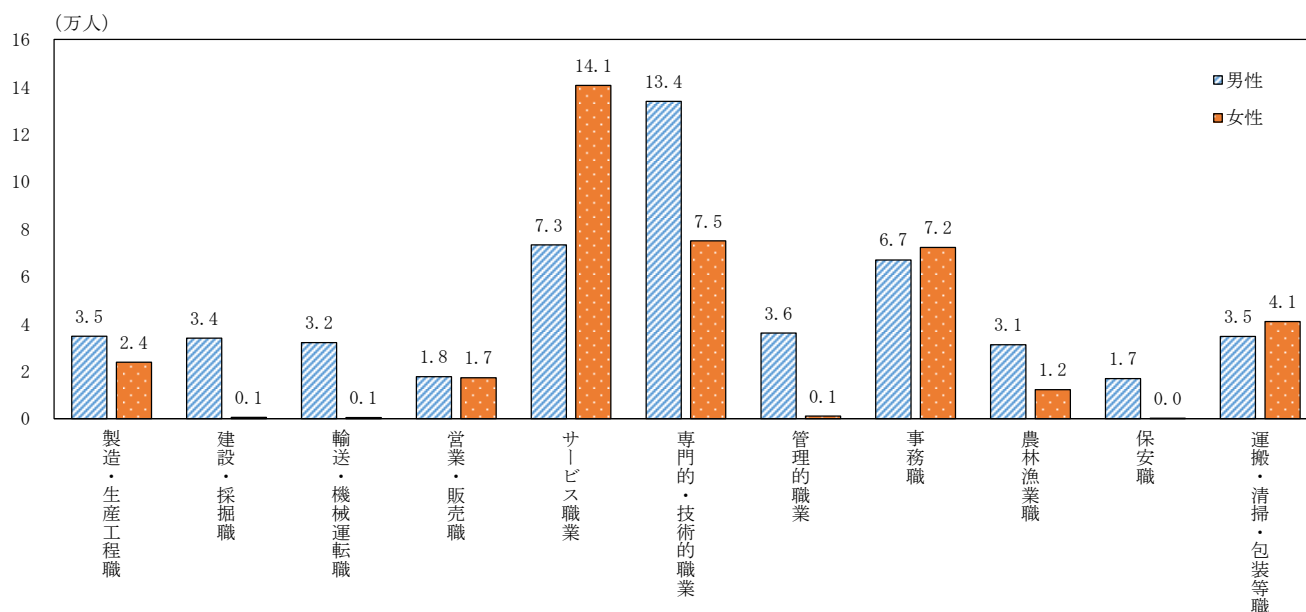
	男女計			男			女		
	有業率	無業者比率	就業希望者比率	有業率	無業者比率	就業希望者比率	有業率	無業者比率	就業希望者比率
65歳以上	25.3	74.7	7.4	34.5	65.5	10.2	18.2	81.8	5.7
65～69歳	50.9	49.1	17.2	61.1	38.9	22.8	41.4	58.6	13.7
70～74歳	33.3	66.7	10.6	42.3	57.7	13.8	25.3	74.7	8.3
75～79歳	19.6	80.4	6.7	26.0	74.0	8.9	14.4	85.6	5.1
80～84歳	10.1	89.9	4.3	14.6	85.4	5.7	6.8	93.2	3.4
85歳以上	4.0	96.0	1.7	7.3	92.7	2.6	2.4	97.6	1.3

資料：「就業構造基本調査」

また、無業者のうち就業希望者について、希望する仕事の種類（「仕事の種類にこだわっていない」を除く。）及び男女別にみると、男性は「専門的・技術的職業」（13.4万人）が最も多く、次いで「サービス職業」（7.3万人）、「事務職」（6.7万人）、「管理的職業」（3.6万人）などとなっています。

女性は「サービス職業」（14.1万人）が最も多く、次いで「専門的・技術的職業」（7.5万人）、「事務職」（7.2万人）、「運搬・清掃・包装等職」（4.1万人）などとなっています。（図12）

図12 高齢者の男女、希望する仕事の種類別就業希望者数（2022年）



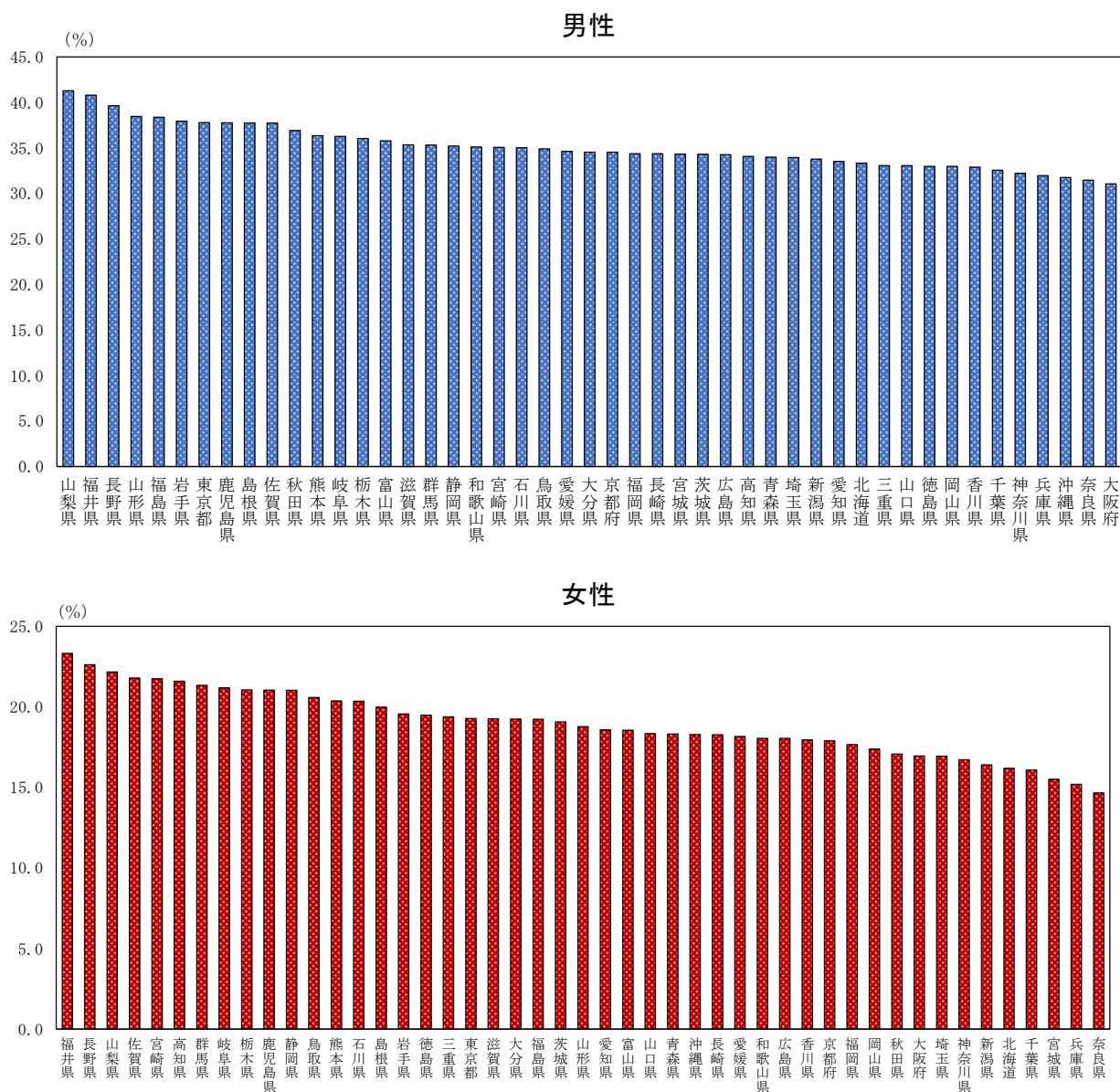
資料：「就業構造基本調査」

高齢者の有業率は、男性は山梨県が最も高く、女性は福井県が最も高い

2022年10月1日現在の高齢者の有業率（25.3％）を都道府県及び男女別にみると、男性は山梨県（41.3％）が最も高く、次いで福井県（40.8％）、長野県（39.6％）、山形県（38.5％）などとなっています。

一方、女性は福井県（23.3％）が最も高く、次いで長野県（22.6％）、山梨県（22.2％）、佐賀県（21.8％）などとなっています。（図13）

図13 高齢者の男女、都道府県別有業率（2022年）



資料：「就業構造基本調査」

◆詳しい結果は、以下のURLを御覧ください。

就業構造基本調査：<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2022/index2.html>

就業構造基本調査

検索

10/1日 みんなのおうち調査

令和5年 住宅・土地統計調査



総務省統計局

【問合せ先】

総務省統計局統計調査部調査企画課企画係

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

TEL : (03) 5273-1159

E-Mail : r-kikaku@soumu.go.jp

【各項目に関する問合せ先】

I 高齢者の人口

(人口推計)

国勢統計課人口推計係

(03) 5273-1009

(World Population Prospects) 調査企画課企画係

(03) 5273-1159

II 高齢者の就業

労働力人口統計室審査発表第一係 (03) 5273-1162

(労働力調査)

(OECD. Stat)

(就業構造基本調査)

労働力人口統計室審査発表第二係 (03) 5273-1092

※統計データを引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

総務省統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

統計局

検索

◆ この冊子は、次の URL からダウンロードできます。

<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1380.html>